



1 親しみ易く熱心な学生来校



1月15日（木）、新モンゴル高専の学生15名（日本語N4レベル）及び教員3名が本校を訪れ、本校の学生と交流を深めました。多目的室で、酒井雄一校長が「サインバイノー」とモンゴル語であいさつし、交流がスタートしました。

1 校内見学

校内見学は、新モンゴル高専の学生を3つのグループに分け、本校の学生がゆっくりとした日本語で案内していました。

各階の授業や実習の説明もあり、興味深く見学していました。案内した平田柚子（石岡商高卒）さんは「とても親しみやすい雰囲気で熱心に見学していました」と嬉しそうに話していました。

2 学校紹介・文化・食等の紹介

本校の学生が、①日本の食・文化、②茨城県や水戸市、③大学校について、スライドで紹介しました。発表した富永誠也

（太田一高卒）さんは「言葉よりも、視覚的に理解し易くなるよう工夫しました」と話していました。続いて、新モンゴル高専の学生からモンゴルの文化や歴史について日本語で紹介がありました。

3 QAによる交流会

事前に相互に質問事項を準備し、それに回答する形式で交流会が実施されました。「エンジニアとして一番身に付けておくべき力は？」との問いに、高木皓貴（水戸啓明高卒）さんは「コミュニケーション能力が大切、日本では日本語が話せると私たちも助かります」と答えると、モンゴルの学生は「なるほど」と笑顔で頷いていました。

プレゼント交換では、茨城名産の「干し芋」を使ったお菓子がプレゼントされました。

モンゴルの学生からは、チョコレートやキーホルダなどがプレゼントされました。

4 写真撮影

玄関前で記念写真を撮りました。新モンゴルのアザーさんは「とても楽しかったです」と笑顔で答えていました。この後、ポーズを決め思い出を深めていました。



グループ毎にポーズを決める学生達

2 スナップ写真



←笑顔で挨拶する
酒井雄一校長

校内見学時に
交流を深める
学生達 ↓

日本の食
や文化を
説明する
学生 ↓

モンゴルの食
や文化を説明
する学生 ↓

←盛り上がる
交流会の様子

↑ モンゴルのフェルト製ゲルとシャガイ
占い遊びセット

プレゼント交換 ↓

↑ メッセージボード
前でポーズ

